

【シンポジウム】

「戦後システムの形成における日米特殊関係—東アジアとヨーロッパ—」

【主催】「基盤（A）・日米特殊関係による東アジア地域再編の政治経済史研究」全体研究会

【日時】2014年5月10日土曜日 午前9時～午後5時

【会場】名古屋大学 CALE フォーラム（CALE 2階）

【地図】名古屋大学へのアクセス <http://www.nagoya-u.ac.jp/access/index.html>

CALE フォーラムへのアクセス <http://cale.law.nagoya-u.ac.jp/access/>

キャンパス・マップ <http://www.nagoya-u.ac.jp/access-map/index.html>

【参加費、申込方法】無料、予約不要

【使用言語】日本語

【スケジュール】

午前9時開始

- ・開会：全体司会 増田知子（名古屋大学）
- ・セッションⅠA：テーマ「大戦後のアジア地域の構造的再編」
 - 1 「1950年代日台政経関係とアジア・琉球」
報告者 やまだあつし（名古屋市立大学）
 - 2 「中国の文化大革命期対外援助と国際関係」
報告者 山岸健太郎（中京大学・非常勤講師）
 - 3 「日米琉特殊関係の政治経済史：米統治下沖縄における「親米派」をめぐって」
報告者 池田慎太郎（関西大学）
- ・セッションⅠB：テーマ「経済金融改革における日米特殊関係の形成」
 - 1 「外国為替管理をめぐるブレトンウッズ体制」
報告者 井口治夫（名古屋大学）
 - 2 「冷戦の発生と円・ドル為替問題」
報告者 滝田賢治（中央大学）
 - 3 「日米特殊関係に規定された米国系銀行による日本市場再進出」
報告者 布田功治（東海大学）
 - 4 「市場経済移行のミクロ的側面：戦後日本の石炭鉱業における事業所動態と生産性変化」
報告者 岡崎哲二（東京大学）
- ・討論：セッションⅠA・B共通
コメンテーター 浅野豊美（中京大学）

（次ページに続く）

午後 1 時 30 分開始

★セッションⅡA：テーマ「大戦後のヨーロッパ地域の構造的再編」

コーディネーター 川喜田敦子（中央大学）

- 1 「ドイツにおける賠償としての施設撤去問題ーアデナウアーの対連合国防衛を中心」
報告者 中村登志哉（名古屋大学）
- 2 「フランスのインドシナ戦争とアメリカ介入の起源」
報告者 鳥瀧優子（同志社女子大学）
- 3 「イタリアの戦後賠償」
報告者 伊藤カンナ（桃山学院大学）

★セッションⅡB：テーマ「政治改革における日米特殊関係の形成」

- 1 「親米日本の構築——保守政権、経済成長、日米特殊関係」
報告者 鈴木宏尚（静岡大学）
- 2 「フィランソロピーからみる日米特殊関係」
報告者 辛島理人（関西学院大学）
- 3 「アジア財団を通じた日米特殊関係の形成？ーCIAによる日本の中国研究支援目的ー」
報告者 市原麻衣子（関西外国語大学）
- 4 「日米特殊関係における「国体」の再生」
報告者 増田知子

★討論：セッションⅡ A・B 共通

コメンテーター 井口治夫

午後 5 時 閉会（予定）

.....

- シンポジウム等に関するお問い合わせにつきましては、お手数をおかけしますが、
下記事務局のメールアドレスにてお願いいたします。

名古屋大学大学院法学研究科「基盤（A）・日米特殊関係による東アジア地域再編の政治
経済史研究」研究会事務局

【メールアドレス】 kaken.notter.kiuchi2012@gmail.com

（@は全角になっておりますので、半角に修正してご使用下さい）